



平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：鳥山 優子 副会長：清水 雅広 幹事：江藤 博一 クラブ会報委員長：葛西 敬
例会日 毎週木曜日 12:15～13:30
会場 グランドホテル神奈中 2F
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内
連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2020年 7月 2日 第 3265 回 週報第 3265 号

本日 7月 2日	会員数 63名	対象者 61名	出席者 48(48)名	出席率 78.69%			
前々回 6月 18日	会員数 65名	対象者 63名	出席者 49(49)名	出席率 77.78%	MUP 1名	計 50名	修正率 79.39%

クラブ協議会・新役員挨拶



新年度を迎えて

2020年～2021年
会長 鳥山 優子

「308 件」

この数字は 7/1 時点で判明している新型コロナウイルス関連の倒産件数です。

帝国データバンクによれば、7年ぶりに 1 万件を超す見通しで、自主的な休廃業についても昨年を上回る 2 万 5 千件を見込んでいます。

私たちロータリアンの精神を的確に言い表す言葉に「超我の奉仕」がありますが、これを実現するためには「我」、すなわち「自分」が存在しなければなりません。しかし今、日本中、そして世界中で自分という灯が消えようとしています。

そんな今、私たちにできることは何でしょうか。

国際ロータリーホルガー・クナーク会長は、本年度の RI テーマを「ロータリーは機会の扉を開く」とされました。奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものである、とクナーク氏はおっしゃっています。今、助けを必要とする人たちの為に、私たちができることは何でしょうか。

RI テーマを受けて、久保田ガバナーは本年度の地区方針を「TOGETHER~+ もっと自由に～」とされました。仲間が集い、同じ目標に向けて協力して進むことで、一人では成し遂げられないことを可能にする。小さな灯が集まり、輝く大きな光になるようにという久保田ガバナーの願いが込められています。

今、灯を絶やさないために、私たちができることはなんですか。助けを必要とする人、今にも灯が消えそうな人、世界中にたくさんいます。けれど、それは遠い世界の話ではありません。

私かもしれないし、あなたかもしれない。そして、あなたの隣のいる人かもしれません。そうだとすれば、今、私たちがすべきことは、一番近くの助けを必要とする人、一番近くの灯が消えそうな人に手を差し伸べることではないでしょうか。

私と同じ運送業で、学校給食の配送を行っている会社が、緊急事態宣言より前の、一斉休校により、仕事がなくなり、廃業を決めたそうです。また、同じロータリーの友人が、会社経費節減のため、退会を決意したと聞きました。そんな彼らに手を差し伸べられないのでしょうか。皆さんの隣にいる人に手を差し伸べれば、その人はまた隣の人に手を差し伸べられます。ひとりひとりが隣の人を助けることで、それはやがて大きな環になります。

久保田ガバナーがおっしゃる通り、小さな灯の集まりが、輝く大きな光の環となるのです。超我の奉仕を実現するためにも、まずは一番近くの人に手を差し伸べましょう。今すぐに世界を変えることはできなくても、私たちは世界を変える力を持っていると、信じています。あなたが差し伸べた手は、きっと世界のどこかで誰かの機会の扉を開くきっかけになるはずです。

この度は、新型コロナウイルスの影響とはいえ、様々な



20-21 年度新理事・役員・副役員の皆様



鳥山新会長より清水前会長へ
労いの花束贈呈



江藤新幹事のご挨拶

準備が遅れてしまったことについて、平塚ロータリークラブの会長として皆様にお詫び申し上げます。また、今回の例会を含め、今後も3密を避け、ソーシャルディスタンスを保ちながら平塚ロータリークラブも、ウィズコロナで活動を続けていきたいと思っております。

最後に、平塚ロータリークラブの今年度のテーマを発表させていただきます。

「手を差し伸べよう。まずはあなたの隣から」
どうぞよろしくお願いいたします。

理事役員 紹介

鳥山 優子	会長
柏手 茂	会長エレクト (クラブ組織強化委員会 委員長を兼任)
清水 雅広	副会長 (クラブ管理運営委員会 委員長を兼任)
江藤 博一	幹事
白石 慎太郎	奉仕プロジェクト委員会 委員長
三荒 弘道	公共イメージ委員会 委員長
高橋 賢	二財団委員会 委員長
升水 一義	長期計画委員会 委員長 (クラブ研修リーダー)
清水 裕	直前会長 前会長
梅干野 修司	会計
鳥海 衡一	会場監督

【副役員】

米山 俊二	副幹事
永井 太郎	副会計
高橋 建二	副会場監督

会長活動方針

今年度の活動内容について

鳥山優子

今年度の目標と活動内容についてお話しします。

目標はズバリ、「RI ロータリー賞へのチャレンジ」です。新型コロナウイルスの影響で思うように活動ができない状況ですが、こんな時だからこそ、同じ目標に向けてみんな協力し合うことが必要だと私は思っています。そして、この目標を実現するための指針として、6つの行動目標も立てました。

1. クラブの戦略計画のビジョンを策定する
2. 会員増強と会員の維持
3. 奉仕活動推進のための寄付
4. ミャンマーの子供たちに楽器演奏を
5. マイロータリーを活用する
6. 例会の在り方、親睦の在り方を模索する

具体的にどういったことをしていくのか、順番に説明します。

1. クラブの戦略計画のビジョンをする

一昨年長期計画委員会の主導で、クラブの満足度調査を行いました。昨年は、クラブの問題点について話し合いました。けれど、会員の皆さんから集まった不満や意見などについては、いまだ着手できていない部分があります。

RI ロータリー賞へのチャレンジには、クラブ会員の満足度向上が不可欠です。様々な問題についてどう解決していくか。それによってどのように会員の皆さんに満足していくか。これを今年度着することを目標といたします。

2. 会員増強と会員の維持

新型コロナウイルスの影響で、会員増強と会員維持は大変厳しい状況です。しかしだからと言って数字を掲げないわけにはいきません。目標は数値化することで、初めて目標となるからです。そこで会員増強について今年度は、3名以上の拡大といたしました。

特に現在在籍のない職業分類にアプローチすることといたします。具体的には、医療関係者、IT分野、土業の方々です。また、ロータリー以外の所属団体や業種からもアプローチをかける予定です。会員維持については、一人一人との対話の時間を設けます。

隣の人に手を差し伸べるには、その人のことを良く知る必要があります。対話を通して会員が抱える悩みや不安にしっかりと耳を傾け、満足度向上に貢献していきたいと思っています。

3. 奉仕活動推進のための寄付

RI ロータリー賞へチャレンジには、奉仕活動推進のための寄付も不可欠です。具体的な目標は、財団で年次寄付1人200ドル、米山奨学会への寄付が1人2万円以上、ポリオ根絶キャンペーンが1人40ドルです。しかし、新型コロナウイルスの影響で、寄付をしたくても余裕がないというお困りの方もいるかもしれません。そのため、ハッキリといたします。私は余裕がある、私はお金持ちだ、という方は、是非とも困っている会員を助ける意味でも、何卒ご協力のほどをお願い申し上げます。

4. ミャンマーの子供たちに楽器演奏を

1クラブ1プロジェクトに沿った国際貢献となる継続的なプロジェクトとして、ミャンマーの子供たちに楽器演奏の機会をプレゼントします。

具体的には、地区補助金を利用して、ミャンマーの子供たちにピアノ、リコーダーを寄付して、楽器を演奏する楽しさを通じ、教育の一助といたします。このような状況で難しいかもしれませんが、実際にミャンマーを訪れ、ともに楽器演奏をするという目標もあきらめてはけません。

5. マイロータリーを活用する

マイロータリーの登録率も、ロータリー賞のチャレンジにかかわってきます。現在平塚ロータリークラブの登録率は約6割です。最低でも6割ですから、ぎりぎりのところにあります。登録率が低い原因は様々ですが、中でも活用方法についてのフォローアップが不足しているのかもしれません。

そこでマイロータリーの活用促進のために、
①豊富な資料や奉仕活動のヒントを得る



- ②既存会員の登録率を上げ、アイデアの交換をする
- ③新入会員には入会と同時に登録と研修を促す。

というような促進活動をしていきます。

6. 例会の在り方、親睦の在り方を模索する

新型コロナウイルスの影響で、今まであって当たり前だった例会や親睦の在り方について、今一度よく考える必要がでてきました。けれどネガティブに考える必要はありません。持続可能な変化を生むための課題ととらえれば、前向きな気持ちで取り組むことができるのではないのでしょうか。ウィズコロナで例会、親睦を実施するためには、

- ①緊急事態宣言下でできることを考える
- ②ICT を駆使する方法を考える

ことが必要です。

以上の行動目標を皆さんと一緒に考え、RI ロータリー賞へのチャレンジという大きな目標に向けて一緒に進んでいきたいです。お互いに手を差し伸べて、この危機を乗り越えていきましょう。そして、みんなで来年6月に台北で開催される国際大会に行きましょう。



しばらくはこのスタイルで例会開催

鳥山年度はスクール形式で開始

幹事報告

◎3月11日に国際奉仕委員会よりJIAの原田燎太郎様へ100,000円の寄付を致しました。

原田様よりお礼状をお送りいただきましたが、新型コロナウイルスの関係でこちらに届くことが遅れ、また休会中ということもあり、会員の皆様にお知らせすることが遅れてしまいました。遅くなりましたが、本日で報告いたします。

◎先日の29日(月)に、平塚市民病院へ感染予防機材約100万円分を平塚ロータリー基金より寄贈いたしました。

寄贈セレモニーが湘南ケーブルテレビで7月7日(火) 22:00~22:40放映されます。

◎毎年7月に開催されます第57回平塚市少年野球大会が新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は中止とご連絡を頂きました。

また、平塚市児童生徒創意くふう展も同じく中止とご連絡がありました。

◎2018-19年度財団への寄付クラブに「END POLIO NOW: 歴史をつくるカウントダウン」の支援への感謝状が届いております。



(株) NTT 東日本一南関東 神奈川西支店副支店長の志村拓様が第一例会で入会されました

委員会報告

○メディア・広報委員会 馬上委員長

ガバナー月信の配布方法に変更があります。紙ベースの配布からネットでの閲覧へととなります。但し、現状、会報を紙ベースで配布している会員の方々は、従来通り紙ベースでの配布をいたします。また、その他の会員で紙ベースでの配布を希望されるかたは馬さままでお申し出ください。尚、定数は20部までとなります。

○雑誌委員会 青山委員長

- ◆「ロータリーの友」表紙、裏表紙のタイトル構成が変わりました。「横書き」が国際版(総合ページ記載)、「縦書き」は国内版です。
- ◆RIテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」…どんな危機も再生と成長の機会になる(総合P6)
- ◆久保田英男ガバナーご夫妻のご紹介(総合P30)
- ◆ジャパネット、高田明氏講演(総合P101)「夢持ち続け日々精進」…3年前に平塚ロータリー60周年記念講演「伝える力」でも講演いただきました
- ◆鈴木成一会員「我が家だけは買いだめせぬとやせ我慢」(総合P90)掲載!

【委員会メンバーより】会員皆様に興味を持っていただける内容をお伝えし、歴史ある平塚RCの宣伝告知に努めます。

メーカーアップ (MUP)

1名

柏手茂会員

本日のスマイル

41名

ゲスト

0名

ビジター

0名

卓話・行事予定

- 7月 9日(木) ひらつかサポートプロジェクト 副実行委員長 関口雄一様
- 7月16日(木) ファイブ スクエアズ育英会 理事長 田口八郎様
- 7月23日(木) 休会(祝日)
- 7月30日(木) 休会

市内例会変更

現在ございません。

